

平成22年度

予 算 説 明 書

監 査 事 務 局

## 目 次

平成22年度一般会計歳入予算説明 .....	ページ 1
平成22年度一般会計歳出予算説明 .....	2

平成 22 年度 一般会計歳入予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明
	千円	千円	千円	
22 款 諸 収 入	44	41	3	
5 項 雑 入	44	41	3	
14 目 雑入	44	41	3	
(2) 社会保険料納付金	34	31	3	嘱託員の社会保険料納付金
(3) その他	10	10	0	包括外部監査報告書販売収入
歳 入 合 計	44	41	3	

平成 22 年度 一般会計歳出予算説明

科 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	差引増△減 千円	説 明
2 款 総 務 費	527,054	561,249	△34,195	監査委員の職務執行及び監査事務局 の運営に要する経費並びに外部監査 に要する経費
6 項 監 査 費	527,054	561,249	△34,195	
1 目 監 査 委 員 費	506,954	541,149	△34,195	報酬・給料 488,707千円 (監査委員5名及び職員45名分) 運営費 18,247千円
2 目 外 部 監 査 費	20,100	20,100	0	包括外部監査経費 20,100千円
歳 出 合 計	527,054	561,249	△34,195	

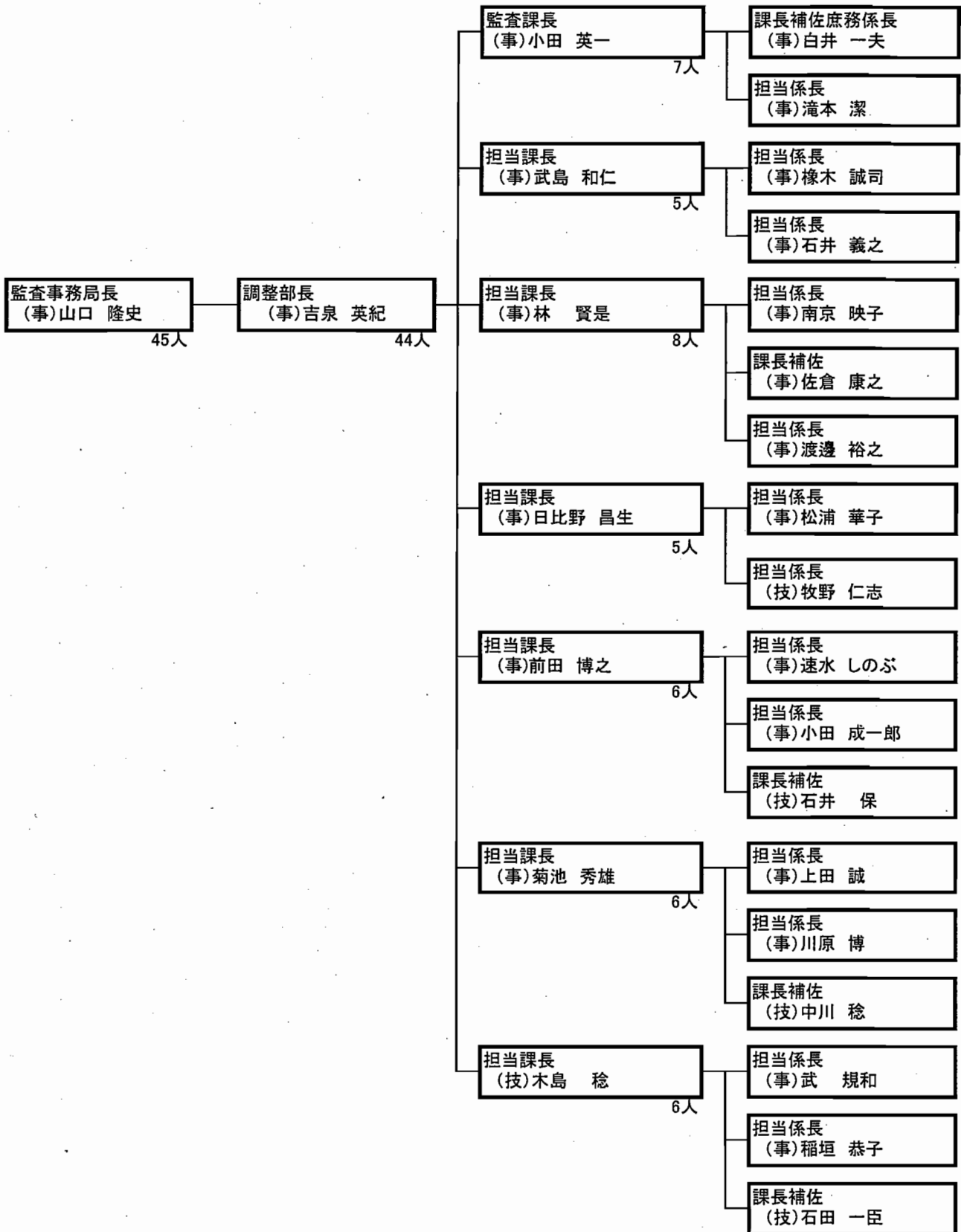
# 機 構 及 び 事 務 分 掌

(平成22年6月10日)

監 査 事 務 局

# 監査事務局機構図

(平成22年6月10日現在)



# 監査事務局事務分掌

## 調整部

### 監査課

- (1) 監査方針、監査計画及び実施計画に関すること。
- (2) 事務局の人事、文書、予算及び決算その他庶務に関すること。
- (3) 監査委員に関すること。
- (4) 事務局の危機管理に関すること。
- (5) 定期監査（事務・工事関係）に関すること。
- (6) 決算審査及び基金運用状況審査に関すること。
- (7) 健全化判断比率等の審査に関すること。
- (8) 資金不足比率等の審査に関すること。
- (9) 現金出納検査に関すること。
- (10) 行政監査・行政評価に関すること。
- (11) 住民請求監査に関すること。
- (12) 財政援助団体等監査に関すること。
- (13) 金融機関の公金出納監査に関すること。
- (14) 外部監査に関すること。
- (15) その他地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）に定める監査委員の職務に属すること。

# 平成22年度 監査事務局 運営方針

## 基本目標

### 「監査で市民の信頼を」

～市政に対する市民の信頼をさらに高めるため、監査を活かします～

## 目標達成に向けた施策・運営

### 1 監査の充実と活用

区局の事業執行の適正性と正確性を担保するため、監査・審査・検査を進めます。  
さらに、経済性・効率性・有効性等の経営的な視点から、業務改善に向けた提言を行います。

### 2 自己点検(内部統制)の支援

区局における業務の自己点検が浸透するよう、内部監察など内部統制の考え方や取組事例を庁内に情報発信し、取組を支援します。

### 3 目に留まる、活用される監査報告

説得力のある監査報告書を発行することで、区局の業務の改善・事故予防に有効活用されることを目指すとともに、市民にもわかりやすいものとします。

### 4 人材育成

事務局職員の監査に関する専門的な知識の向上を図ります。  
併せてこれまでの行政経験を遺憾なく発揮し、現実的で実効性のある監査を遂行できる職員を育てます。

## 目標達成に向けた姿勢

### 1 現場志向

監査対象となった業務の問題点の正確な把握はもとより、現場の実情を重視する姿勢を大切にして監査に取り組みます。  
また、課題の背景も踏まえて、改善に向けた具体的な意見提案に努めます。

### 2 生活志向

常に市民目線を念頭に置き、市政が求められているものを意識します。これにより、市民生活の向上に資する監査を進めます。



### 3 元気志向

事務局職員全員が自らの能力を全力で発揮するとともに、情報を共有しながら協力して課題に取り組みます。  
また、小規模組織ならではの臨機応変なチャレンジを行い、チーム力の強化を図るとともに、その取組を区局に発信します。



## 1 監査の充実と活用

### 【主な事業・取組】

- 経営的視点を取り入れた決算審査
- 改善に向けた提言を積極的に行う定期監査
- 所管区局長への聞き取りと意見交換

### 【指標】

- ⇒報告書提出(9月)、区局職員に対する納得度アンケートの導入
- ⇒報告書提出(3月)、前回アンケート結果を上回る納得度の達成
- ⇒監査委員を支援、各監査・審査時に実施

## 2 自己点検（内部統制）の支援

- 区局向け課題点検事例集の発行
- 内部統制に関する研修の実施
- 内部統制の整備・運用状況の確認
- 事務局における内部監察の実施

- ⇒チーム横浜強化レシピ:週刊「ビタミンK」の発行(年2シリーズ、概ね各5号)、アクセス数15%アップ
- ⇒職位別研修(6~12月に全階層対象に実施)  
職員向けeラーニングの機会提供(6~8月受講目標300人)
- ⇒監査・審査実施時に区局長インタビューを実施(7月、2月)
- ⇒事務局業務の自己点検を率先垂範(9~10月に3回実施)

## 3 目に留まる、活用される監査報告

- 報告書の意見・提言内容の充実
- 監査で指摘した事項のフォローアップ
- 報告書内容の庁内向け説明会の実施
- 監査事務局ホームページでの市民向け情報発信

- ⇒監査結果報告書提出(9月にアクセス件数を計測開始、3月にそれを上回るアクセス数の達成)
- ⇒改善を要する項目の対象区局への明示(6月)、決算審査・定期監査にあわせた状況確認(7月、12月)、改善結果の公表(3月)
- ⇒全区局職員向け説明会の開催(年1回)、満足度の向上35%(前年度26%)
- ⇒報告書を迅速にアップするとともに、「よくある質問」やサイト内検索機能を付加(10月)

## 4 人材育成

- 事務局職員向け専門研修・実務研修の実施

- ⇒簿記研修、会計実務研修、監査委員による会計・法務等の研修(5回以上実施)
- ⇒マニュアル等を活用した実務研修実施等(5回以上実施)